

シルバースター・エレメンタリースクール

レポート：浦野真沙子

★概要

3クラス編成のキンダーはモンテソーリを取り入れたクラス、遊びを中心にしながら学ぶクラス、アカデミックを得意とするクラスから成り、それぞれの生徒の個性を生かしたクラス編成となっている。

- ① キンダーガーデンから7年生までが在籍する 公立の小学校
- ② モンテッソーリを取り入れている
- ③ カリキュラムは、B・C州教育省の監督のもと構築されている
- ④ {教育省のカリキュラムには、各学年で学ぶべき項目・達成目標が明確に記されて、それらをどのような教材または手法を用いて達成するかは、各学校・教師にゆだねられています}
- ⑤ 保育では、カリキュラムの時間と遊びの時間がしっかりと分かれている
- ⑥ 読み書きのカリキュラムを行う時間は、得意な子と苦手な子がペアになり子ども同士で教え合う
- ⑦ お当番活動を通し、リーダーシップ・責任感を育てる



- ⑧ 寝る際の読み聞かせ・読書を勧めている
- ⑨ 「気になる子」について
- ⑩ ・学校内の色々な先生と事例を挙げて話し合い、そこから対応策を見つけていく
- ⑪ ルーティンを決めその子のカリキュラムをつくり対応していく(例・発散→落ち着く→発散→落ち着く。)くり返し 落ち着く時間を長くしていく。
- ⑫ 薬の使用は進めていない
- ⑬ 「自ら」を目的として「やらせ」ない・達成感の体験を多くする
- ⑭ 自然を大切に作る心を育てる
- ⑮ ランチの残りで土をつくり父とガーデニングをする等の取り組みを行う
- ⑯ 「センタータイム」=友達と口で話し社会性を培う時間(内容例・将来の夢・希望など B・C州のカリキュラム)

★保護者との連携

- ① 週2日 両親が参観出来る(水・木曜日)

② 週 1 日 未就児と一緒に遊べる
(金曜日 朝)

③ Eメールでのやりとり



事を満たす環境作りが大切である

★感想

先住民のクラスや、先住民の伝統文化に触れる授業があるなど「カナダ」という国を愛し、「カナダ人」であることに誇りを持つ学校であると感じました。

そして、忙しい中で時間を作り熱心に教育についてお話を聞かせていただいたこと、伺う時間を作っていただいたことがとても嬉しかったです。お話いただいたことが全てが私達にとってもとても大切なことでした。また、校長先生の子供達・先生方からの慕われ方がとても素晴らしく、お人柄を感じました。そして「463名の生徒の名前を全員を覚えるわ!」とすれ違う生徒全員に声をかける校長先生の姿を拝見して、先生として・人として憧れました。私も一人ひとりと向き合い信頼関係を深めていこうと思いました。

★教師の話

- ① 子どもと接する中で大切にされてることは?
- ② 「環境設定」・安全・大好きな環境と思える様に
- ③ 子ども自ら選択できる・やりとげられる事が大切
- ④ 一律でなく一人ひとりに合った方法を行う
- ⑤ 「好きを成功に」と考えて繋げていきたい
- ⑥ 教師はきっかけを与える・そこからは子ども自ら広げていく
- ⑦ プロである必要はない。子どもの望む

